

25年度の決算報告

【企業会計】

病院事業（市立病院）

当年度純損失は約4億9千万円

収益的収支

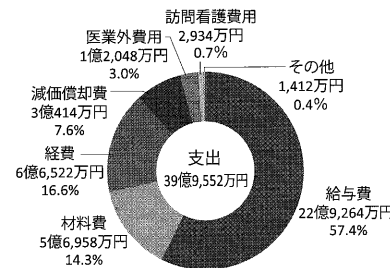
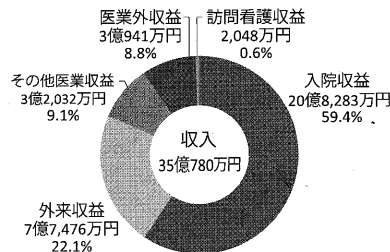
収入は、35億780万円。対前年度比0.2%、843万円の増額。

一方、支出は39億9,552万円。給与費、減価償却費の減額などにより対前年度比0.8%減の3,193万円の減額。単年度の赤字幅は前年度より4,036万円減額し、差し引き、4億8,772万円の当年度純損失が生じました。前年度の繰越欠損金38億2,838万円を合わせ、25年度未処理欠損金は43億1,610万円となりました。

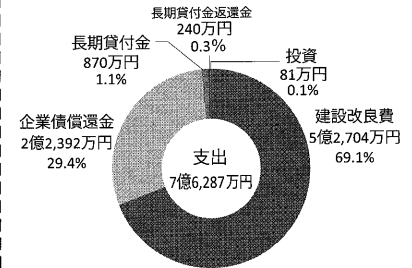
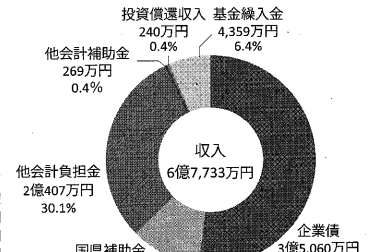
資本的収支

新病院建設事業に伴う用地取得・基本設計、医療機器などの整備及び、企業債の償還などにより収支不足8,554万円と翌年度工事資金140万円の合計8,694万円の資金不足が生じました。これを当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び、過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

収益的収支



資本的収支



25年度の患者数

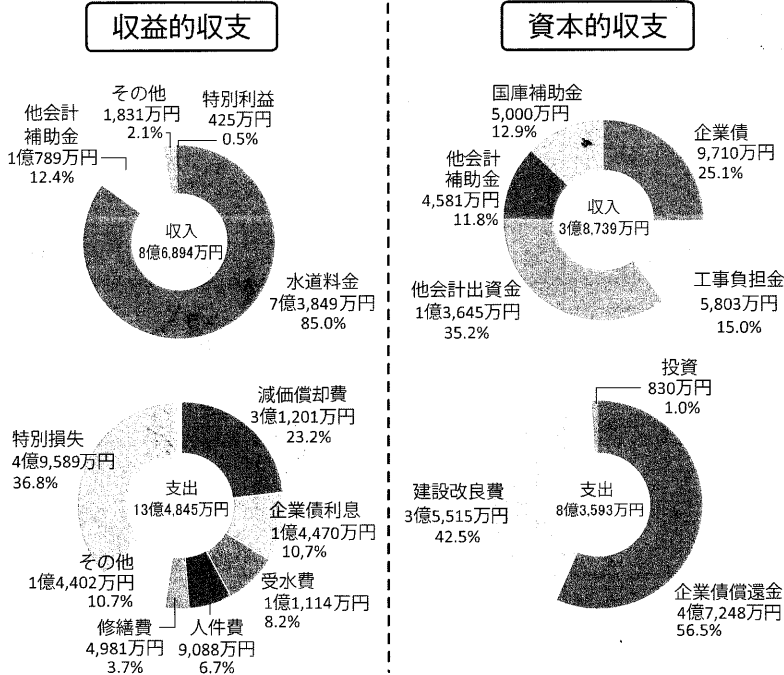
- 入院患者数 延61,951人（前年度比1,108人増）
- 外来患者数 延90,888人（前年度比4,522人減）
- 訪問看護利用者数 延2,087人（前年度比1,474人増）

問い合わせ先 市立病院経営企画課（☎0854-82-0330）

【企業会計】

水道事業

当年度収支で、4億7,950万円の赤字
(経常収支は、約1,214万円の黒字)



収益的収支

収入は8億6,894万円。節水機器の普及などにより水道料金収入が減少したほか、一般会計からの補助金が減額となったことなどから、対前年度比0.9%減の約806万円の減額となりました。

支出は13億4,845万円。人件費などの経常的な経費は減少したものの、公営企業会計基準の改正等に伴う特別損失の計上が大きく影響し、対前年度比57.6%増の約4億9,281万円の増額となりました。結果、収支は4億7,950万円の赤字となりましたが、自己資金によって損失補てんを行い、今年度末の未処分利益剰余金は2億6,059万円となりました。

資本的収支

建設改良事業では、配水管耐震化工事、支障移転工事など26件の事業を実施しました。そのほか、企業債の償還を行った結果、翌年度の工事資金1,164万円を除き、収支差引4億6,018万円の資金不足が生じました。

これを当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、前年度繰越工事資金、過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

25年度の給水実績 (平成26年3月31日現在)

給水戸数	1万3,555戸 (前年度比46戸減)
有収水量	292万1,370m ³ (前年度比1万8,687m ³ 減)
水道料金	7億3,849万円 (前年度比約372万円)